

藍住町 議会だより

第54号

平成20年8月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野

字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



CONTENTS

6月定例会	P.2
総体質問	P.3
議員8人が一般質問	P.4~11
議会のうごき	P.12

ひまわりの迷路を楽しむ幼稚園児

6月定例会

6月定例議会が6月9日から20日までの12日間の会期で開会され、下記の議案が審議された。

町長提案

- 平成19年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて・・・原案可決
- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて・・・原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて・・・原案可決
- 藍住町農業委員会委員の定数に関する条例の制定について・・・原案可決
- 藍住町公共下水道条例の制定について・・・原案可決
- 藍住町公共下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の制定について・・・原案可決
- 藍住町教育委員会委員の定数に関する条例の制定について・・・原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う
徳島県市町村総合事務組合規約の変更について・・・原案可決
- 奥野猪熊第一分区公共下水道管渠布設工事の請負契約の締結について・・・大徳建設 株式会社

議員提案

- 藍住町農業委員会委員の推薦について・・・喜田 修
小川幸英

資格審査特別委員会申し出

- 調査権等の委任申出書・閉会中の継続審査申出書・・・原案可決

町からの主な報告

藍寿苑の給食民間委託

四月から調理部門の民間委託を開始、現在は順調に調理が行われている。

運営協議会を開催し、委託業者及び関係者と協議しながら、よりよい給食が提供できるように努めたい。

後期高齢者医療制度

本町では今のところ大きなトラブルもなく進んでいる。国等の動向も注視しながら、円滑な業務の推進に努めていく。

六十五歳以上の方のインフルエンザ予防接種

本年度から補助額を一人二千元に増額したい。九月議会で補正予算措置をお願いする。

公共下水道

今年度は役場庁舎南側、猪熊地区で工事予定。来年度から終末処理場が稼働、

供用開始の予定である。

就学前児童対策委員会

近年、幼保一元化の在り方が改めて問われていることから、五月に検討組織を立ち上げ、七名の委員に委嘱、諮問をした。来年二月か三月を目途に、一定の方針または検討を示していただけになっていく。

きらめき出逢い・

交流促進事業

本町でも少子化の要因の一つである未婚化、晩婚化の傾向が見られるため、県と県中小企業団体中央会が協働して実施している事業の推進に積極的に協力していきたい。

ふるさと納税

町のホームページを活用して、町外に在住される方に藍住町を応援していただけるよう、ふるさと納税制度を広報していきたい。

総体質問

Q 保育所入所児童費の補正予算、二百万円円の減額は給食原材料費の減額とのことだが、各地で給食費の値上げ問題が指摘されている。間違いないのか。また、栄養面の心配はないのか。

全国的に学校給食費値上げの問題が浮上しているが、本町の現状は。

A 一日二回出していた牛乳を寒い時期、一回に変更した。栄養価については、スキムミルク等の代替食品に換えたり食材の方にしたりしている。

また、加工食品、冷凍食品等の使用頻度を減らしたり、献立に和食や煮物の回数を増やし、魚、豆腐、大豆製品を取り入れ、肉類が少なくなったこと等による

減額である。

最近の物価の上昇は、本町の学校給食の運営にも大きな影響を及ぼしており、かなり厳しい状況である。節電や節水、食材の購入方法、献立などの工夫によりできる限りの取り組みはしているが、このまま推移すると二十年度末には一千二百万円円の予算不足が生じる。二十年度は公費負担で賄うよう現在は考えているが、二十一年度以降の給食費値上げについては、今後、検討を重ねたい。



保育所での給食

定例会案内

次の定例会は9月です。
次号は11月に発行します。

○お問い合わせ
議会事務局
☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので御了承下さい。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せ下さい。

投稿規定

- 1 住所・氏名・電話番号を明記
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内。
- 4 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

平成19年度一般会計補正予算の状況

(単位：円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	84億300万	8,200万	84億8,500万

資格審査特別委員会

3月定例会最終日に西川良夫議員から、西岡恵子議員の被選挙権の有無について地方自治法第127条第1項の規定により決定されるよう、資格決定要求書が提出され、審議の結果、当委員会に付託となった。

当委員会は、議員の身分に関わる重要な問題であるので、6月定例会最終日までに延べ6回にわたり慎重に審査をしてきた。被要求議員に対しては、委員会として電気・水道・ガスの使用量等、生活の実態を示す資料の提出を求め続けてきたが、十分な資料の提出はなかった。このため、委員から、資料が少なく審査が進まない、結論が出ない、どうしても資料を出していただけないのなら議長に100条調査権等の委任を申し出てはどうかとの意見があり、協議の結果、調査権等の委任申し出をすることに決定した。

そして、6月定例会最終日、当委員会に対する地方自治法第100条第1項及び同法第98条第1項の権限（調査権）の委任が議決された。今後、この調査権限に基づき、慎重に審査を進めて、委員会としての結論を出すことになる。

夢タウン誘致について

付近住民に迷惑がかからないよう
要望しておきたい

問 夢タウンのオープンは平成二十二年頃になるとの事であったが現在どのようになっているか。又夢タウンの出店によって周辺の車の通行量が増大すると思われるが対策は。この夢タウン誘致場所は台風や大雨の際の遊水地帯であった。付近の住民は遊水地帯が埋め立てられることにより台風の際に浸水しないかと心配しているとの声が多い。排水ポンプ増設も含めてどのように対処するか。

答 現在、面積で八三%が契約及び同意済みである。用地取得完了後に開発協議が必要であり、町としても交通渋滞に十分配慮されるよう意見を述べたい。
国交省・県にポンプ排水



小川 幸英 議員

能力向上を要望しているが、現在、有益な回答は得ていない。出店面積の与える影響を積算し、地下に調整池等を設置する等、排水対策が講じられるものと考えられる。

パークゴルフ場について

三世代が一緒に楽しめるスポーツで、
町民の健康増進や生きがい対策に寄与できると考える

問 パークゴルフ場の管理や指導、啓発はどの部署がするのか。施設が出来ても競技人口が少ないのでは済まされない。藍住町スポーツクラブと連携して全町民にパークゴルフを知っていたら、だくべく教室の開講や各地区に出向き指導していくような施策を早急に考えて取り組む体制は出来ているか。

答 教育委員会として、あいずみスポーツクラブと連携し、積極的に講習会を開くなどして広めていきたい。運営管理面についても、関係する部署と協議を行っていききたい。

学校の耐震化について

早急に耐震化を図る必要があると
認識している

問 平成二十年度は北小学校の校舎棟耐震補強、二十一年度には南小学校の校舎棟耐震補強等工事、藍住中学校の南校舎棟耐震補強等の設計工事を計画との事だが、中国四川大地震を受けて国においても学校施設の耐震化事業に対する国庫補助を三年間の時限措置で拡充する改正地震防災対策特別措置法が成立した。本町において前倒しで耐震化を図る計画はないか。

答 今回の特別措置法改正は、本町も取り組んでいる第三次地震防災緊急事業五年計画に基づき実施される事業の内、強度の値のレベルが〇・三未満の診断結果の地震補強事業について国の補助率を引き上げるものであるが、本町で危険度数の値が補助の特例をクリアしているのは北小と南小の耐震補強である。詳細については、事務的にも詰めていく中で、採択に向けて取り組むたい。



耐震補強工事済みの北小体育館

その他の質問

○給食の民間委託について

学校耐震と自主防災

学校耐震化は、早急に順次計画的に進めたい

問 中国四川省大地震の被害を教訓として、国の方針も耐震化の補強には、補助金を引き上げると言われている。特に耐震診断を必要とする学校施設。校舎は、子供達の安全を守り、災害時には地域住民の避難場所になる大変重要な建物である。又電話帳コミュニティタウンあいずみの「防災マップ」に公共施設地域住民の避難場所十二カ所が地図に標示されている。安心・安全対策として補強工事は急務である。

答 地震防災緊急事業5カ年計画に基づき平成二十年度は北小学校耐震工事、南小学校の耐震設計。二十一年度は南小学校の耐震工事、藍住中学校南校舎棟の耐震設計。二十二年度は藍住中の耐震工事を計画している。その他の建物についても、今後も計画的に早急に順次進める必要があり、財政の問題もあるが取り組んでいきたい。

問 給食民間委託・食育・地産地消・学習農園の設立。休耕地を活用して体験学習で、食育の推進を。作物を育てる気持ちで人々を思う心、道徳を学び、育成の姿を見て命の大切さを学び、体験することで自然との共生を知り心が豊かになる。「共に育てる学習農園を」安心で安全な給食、地産地消、地元食材をできるだけ献立に取り入れた給食の実施として、地場産物確保のその後の進捗状況を。

答 学習農園は、それぞれの学校での授業時数や学校周辺での用地確保、協力いただける人材確保等の問題もあり、学校の方針も考慮して進めていく必要があると考える。

地産地消の推進は、本町の給食数が一日四千食を越す量であること、自校方式で調理していること、価格等の問題もあり、なかなか思うような取り組みができていないが、関係者の御協力をいただく中で、できるだけ多くの地元産材を使用できるように今後も進めたい。



永浜 茂樹 議員

学校給食運営基本計画

学習農園は、機会を捉えて学校に
対し検討事項として周知したい

児童・生徒の安全対策

要所要所の危険箇所の
調査はしている

問 各学校通学路の危険箇所・不審者対策・防犯灯の設置等、何時、災害事故が発生するかわからないとして、安全対策について、年度初めに、三月議会で質問しました。何処まで現地把握され改善したのかその後の進捗状況を伺いたい。

答 県や町の担当課に協力を願う中で、できるものから取り組んでいる。用地交渉が必要な事案や財政的負担が大きい工事等も、関係機関に協力をお願いして進めているのが現状である。

その他の質問

- 町内学校プールの安全管理について
- 防災対策「水防工法基礎知識」の講演・研修を
- ポイ捨て犬のふん害「町条例施行の啓発活動」



歩道改良された通学路

もう、我慢の限界だ！

広報や丁寧な対応に努め、
円滑に進むよう努めたい

問 四月から実施された「後期高齢者医療制度」は七十五歳以上のお年寄りを国民健康保険から切り離し保険料を少ない年金から天引きして、予算も実務能力もない「広域連合」に運営させてお年寄りの健康よりも医療費の抑制をしようとするものです。少子高齢化が進む中では財政破綻するのは目にみえています。「金の切れ目が命の切れ目」だとお年寄りは怒っています。こんな「悪法」は即刻廃止を。

答 後期高齢者医療制度には反対や見直しの声が多く、政府では制度運用の改善策が検討されている状況であり、今後の動向により対応できるように注視したい。



喜田 敏夫 議員

子供は未来の宝物

今後も図書館の充実に
積極的に図りたい

積極的に図りたい

問 学校図書館の充実のため昨年、国から市町村へ交付された二百億円のうち十四億円が他の目的に流用されたと聞く。徳島県でも本の購入に充当したのは四九%で全国ワースト五位で

あった。藍住町では他に流用した割合はいくらになるのか。学力向上など教育の充実が叫ばれる今日、教育に対する背信行為ではないか。

答 学校図書館図書費は従来から当初予算編成において交付税算入見込額を念頭に置いて予算付けをしている。十九年度当初予算段階では、前年度の交付税算入額を基に満額計上しているが、その年度の費目ごとの詳細な算入基準資料が入手できるのは、交付税確定後の年末頃となるため、実際の確定額とは一年のずれが生じる。特に十九年度は、学校図書館図書費の交付税算入が大幅に増額された結果、小中学校とも結果的には六三%程度の予算計上となった。二十年度の予算は学校現場とのヒアリングでは満額計上できているが、交付税算入額が大幅に増えているため、これとの比較では小学校が八四%、中学校が七一%の計上となっている。

職員の「倫理条例」の設置を！

検討させていただきたい

問 中央省庁の職員が税金でタクシーで帰宅する際に運転手からビールや金品をもらっていた。徳島県職員も業者との癒着による贈収賄事件や町村の理事者や議員などの贈収賄事件が続発しております。藍住町議会はこのほど「議員倫理条例」を制定しました。理事

者、職員もこの際、「倫理条例」の制定をしてはどうか。

答 本町では、あらゆる機会を捉えて職員に対して綱紀粛正の徹底に努めている。倫理条例制定については、今後、他市町の条例内容等も研究したいと考えている。



小学校の図書室

藍住東中学校ナイター設備について

社会教育施設(町民グラウンド)として夜間照明が設置されているのは藍中、北小、南小、西小

問 藍住中学校にはナイター設備が付いていて、藍住東中学校には付いていないとクラブ活動に影響し、同じ教育ができないのではないか。

答 また、藍住東中学校近辺の街灯設備について、冬場の下校時、五時を過ぎると真つ暗な状態で危ないと保護者からいろいろな苦情を聞くが、設置可能な場所を早急に調査し、設置可能な場所から設置してほしい。

答 中学校での部活動の基本的な考え方は、冬場と夏場で練習時間が大きく違ってくるが、通常は日没までという考え方で運用されているようである。

東中学校の通学路の街路灯設置については、要望箇所の現地周辺の状況等を調査し、早急に設置可能などから順次設置をしていきたい。

あいずみ納涼花火大会について

現状の納涼祭の中で、さらに楽しんでいただける夏祭りとなるよう支援したい



問 たくさんの住民の方から「花火大会、なんでもなくしたん。できたらもう一度してほしい。」という要望があります。藍住町の目玉でもある花火大会を、予算のこともあると思うが、もう一度できないのか。以前の場所がだめならば違う場所はないのかをお聞きしたいと思います。



平石 賢治 議員

答 花火の打ち上げについては、風向きによっては周辺の家屋へ花火の燃えかす等が飛散し、危険な状態となっていた。そのため、花火打ち上げ場所を変更して開催した時期もあったが、状況が改善されなかった。また、交通渋滞、警備体制、

財政面等もあったため、平成十六年度より花火は中止となり、納涼祭の装いを一新して一日の開催となっている。町としては、現状の納涼祭の中で、さらに町民の方に楽しんでいただける夏祭りとなるよう支援していきたい。



あいずみ商工会納涼祭

	小学校	中学校
アレルギー性鼻炎	17.0%	8.4%
アレルギー性結膜炎	4.6%	1.4%
喘息	6.9%	5.3%
アトピー性皮膚炎	5.4%	1.7%
食物アレルギー	3.5%	3.2%

町内小中学校におけるアレルギー疾患の有病率
(小学校平成19年・中学校平成20年調査)

学校のアレルギー疾患に対する取り組み

アレルギー症状を持つ児童生徒についての理解を担任や養護教諭を中心に十分図り対応

問 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインが今年四月以降全国の教育委員会、学校等に配布され、アレルギー疾患のある子供たちをどう支えるかという視点で取り組みを現場に促している。アレルギー疾患の有病率の実態、喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、それぞれの症状についての対応。また健康教育についてはどのようにしているのか。

答 喘息は、状況により保護者に連絡。アトピー性皮膚炎は、水泳指導時等にはその子に応じた配慮。食物アレルギーは、症状や程度も様々なので、本人はもちろん担任などが注意を払っ



西川 良夫 議員

ている。全教育活動の中で常に思いやりの心を育てるとともに、アレルギーを持つ児童生徒を理解し、支援する心を育てる指導をしている。

携帯電話のリサイクルについて

貴重な資源を含んでおり、リサイクルに努めたい

問 使用済みで破棄されるIT機器や携帯電話に使われている希少金属(レアメタル)は、変化する国際情勢で量の確保が不安定になり世界の資源価格は高騰している。資源の少ない大量消費国の日本では安定確保は喫緊の課題である。一億人以上普及していると言われる携帯電話。廃棄物リサ

イクルに積極的に取り組む必要があると思うが。

答 携帯電話の資源としての有効性を周知し、使われなくなった携帯電話をリサイクルするよう広報などで呼びかけ、ごみカレンダーにも明記したい。

住民の視点からホームページ刷新を

平成20年度に作り替える計画

問 分かりづらい、使いにくい、情報量が少ない現ホームページ。誰にでも使いやすく親切なコンテンツの追加改善。また、防災、犯罪等のリアルタイム情報、公共施設の空き状況や使用状況。また、防災、防犯、犯罪情報、その他の情報を、希望者に対し携帯電話にメール配信サービスを提供してはどうか。

答 更新から四年余り経過し、現在主流であるトップページからの新着情報や目的別ジャンルによる検索がしにくいのも事実である。新たに作製するホームページは、検索しやすくするとともに、防災情報の充実や施設などの使用状況、予約受付等に関し、今後担当課と協議しながら、利用しやすいものに仕上げたい。

パークゴルフ場建設について

現在、河川工事で発生する残土を利用して
国交省により盛土工事が行われている

問 住民の要望もないままのパークゴルフ場建設は、一メートルほど盛土をして作るというが、台風などの大雨による増水で流出の心配はないのか。そして、その盛土は、どこから持ち込まれているのか。現在の町内外のパークゴルフ競技人口はどのくらいあるのか。利用者や将来的に誘致する予定の全国大会における車両の駐車場は確保出来ているのか。吉野川有数の干潟である建設場所の動・植物の生息実態の調査をすべきではないのか。

答 現況の芝生広場を盛土し、その上に芝生を張るので、土の流出や生物への影響はほとんどないと考えている。
競技人口は全国で推定百万人、本町内では把握できていない。駐車場は五十台程度を確保する。

保育料引き下げについて 現在の本町基準は厚生労働省基準に 準じ、一部はそれ以下の設定である



小西 浩昭 議員

問 少子化対策が叫ばれている今日。安心して子育て出来る環境を作って欲しいと手紙をいただいたり、本町の保育料が高いとの話を聞くが、引き下げる考えがあるのか。保育所の中途入所が出来ないのは何故か。現在、待機児童数は、どのくらいあるのか。

答 母子世帯や第三子以降の単独入所者への保育料軽減等も実施しており、現時点では見直しの予定はない。四月時点で定員に近くなることや年度途中の保育士確保が難しいため、中途入所は待機していただく場合

もある。六月九日現在では〇歳児二名、二歳児一名だが、臨時保育士の雇用準備が整い次第、入所していただけの予定である。



保育所で水遊びをする子供達

児童生徒の携帯電話の所持について

有害サイトでの被害防止のため、
家庭や学校と協力して取り組む必要がある

問 犯罪の凶悪化や低年齢化が危惧されている今日。そういった犯罪や事件に巻き込まれないようにするために、藍住町内の小・中学生の携帯電話の所持数はいくらぐらいあるのか。有害サイトへの取り組みや対策はどうしているのか。

答 小学校では低学年で三%前後、一五%以上、高学年で五〜一〇%程度、二五%前後。中学校では五〇〜八〇%程度所持しているようである。
有害サイトについては、小学校では定期的に高学年を対象に研修をしたり、個別に指導している事例もある。中学校では、道徳や学級指導等の時間、三者面談時など、折に触れ指導を行っている。

後期高齢者医療制度は、見直しでなく廃止せよ

問い合わせや苦情が多く寄せられている

問 七十五歳以上で線引きし、健保や国保、扶養家族

からムリヤリ引き離し、保険料は年金天引きで医療給付は下げるなど世界で例のない制度です。

健康診断も行わず人間ドックも廃止されたが、町として実施すべきでないか。長期入院する療養病床を削減する方針だが、町内の

療養病床の削減数と退院を迫られる町民への対応は。

答 本年度から特定健診等を各医療保険者が行うことになり、七十五歳以上の方は徳島県後期高齢者医療広域連合が健康診査として行うこととなった。



林 茂 議員

国は介護型療養病床を平成二十三年度末で廃止、医療型療養病床を六割削減の方針だが、町内の削減数は未定である。介護保険施設への転所等での対応となるが、関係機関と連携した情報提供や支援をする必要があると考える。

公共下水道事業が八年前から阿南市那賀川町では財政難で凍結。町も二期工事は見直すべきだ。県と二市四町による広域事業でもあり、連携を図り、慎重に検討したい

問 公共下水道の加入金は、生活困窮者には受益者負担金を免除すること。

地域説明会を開催し、町民の意見を聞き今後の下水道事業に反映させること。敷地内の工事については、町が融資の斡旋や利子補給など行っているのか。

運営に反映させたい。

宅内改造工事への利子補給制度は、金融機関等の協力も必要である。他の自治体等の状況も調査し、検討したい。

大地震に備え生徒や住民の命を守るために

厳しい財政状況であるが、計画的に耐震化を進めたい

問 学校施設など耐震改修の実施計画は。

地震など家具の倒壊から命を守るために、高齢者世帯に対して倒壊防止の金具を無料で取り付けることを提案したが、その後の状況は。

緊急時の避難が困難と思

われる高齢者世帯や障害者のある方と同居している世帯に対し、二十万円程度の改修費の割り増し助成を行い支援すること。

答 平成二十二年度までに北小・南小の校舎と藍住中の南校舎の耐震補強工事を

予定。

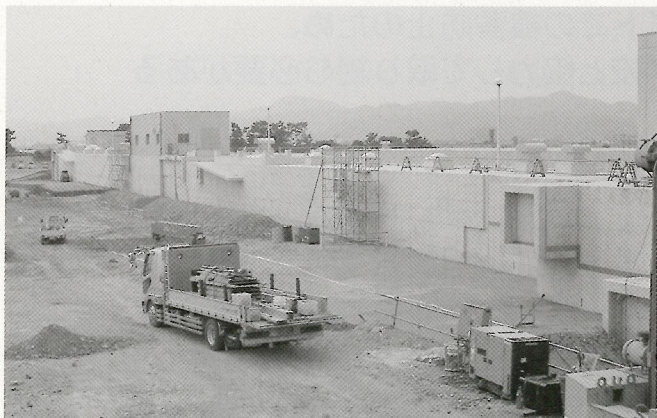
高齢者の方への家具転倒防止支援対策は、まだ具体的取り組みができていない。早急に取り組みたい。

耐震改修工事への補助事業は、県と町の補助で成り立っている。町単独での上乗せは、現時点では難しい。

答 生活保護

世帯は、受益者負担金を百%減免の予定。

供用開始予定地域で説明会を開催し、詳しく説明したい。住民の意見を十分お聞きし、今後の下水道事業



建設中の流域下水道終末処理場（松茂町）

有害情報対策

～有害サイトから子供を守る対策について～

引き続き対策を講じたい

問 携帯電話等のインターネット上で子供が事件に巻き込まれるケースが相次いでいることから「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境整備法」有害サイト対策法が今国会で成立、携帯電話会社等ではフィルタリング義務も検討中のようなが本町においても早急な対策が必要、取組みについて尋ねる。

答 町内小中学校では総務省、文部科学省、電気通信事業者協会等多くの関係団体で組織する啓発講座、eネットキャラバンの研修会等を利用して、保護者・教員・子供が一緒になってインターネットの被害から守る方策を考えたり研修もしている。今後も更に関係機関と連携し、子供達がトラブルに巻き込まれないようにしたい。

健康対策

特定健康診査、特定保健指導について

健診受診率の向上のための啓発に努めたい



西岡 恵子 議員

問 急速に進む高齢化とそれに伴う医療費、介護負担の急騰を抑え持続可能な長寿社会を形成する為に今更以上生活習慣病予防、重症化防止（メタボリックシンドローム予防改善）を図る目的で実施されるこの事業の内容、本町での取組みについて尋ねる。

答 本町でも保険者である国民健康保険の四十歳から七十四歳までの被保険者を対象に特定健康診査を行い、その結果を基に、保健指導を必要とする方には、生活

習慣を改善するため、保健師や管理栄養士による支援や栄養指導、運動指導などを行う。生活習慣の改善、効果ある保健指導に積極的に努めたい。

正法寺川の浄化

水環境改善緊急行動計画

(清流ルネッサンスII) について

今後関係機関と連携しながら水質保全活動を更に進めたい

問 平成十五年度に水質及び水量を対象として水環境の健全化を図る為に清流ルネッサンスIIを実施する川として国交省より選定されている。主体は徳島県だが、住民参画活動も推進しながら本町が積極的に水環境改

善に取組むことも要件とされている。目標達成最終年度(平成二十四年度)の中間点として進捗状況、今後の取組みについて尋ねる。



正法寺川 (新富吉橋下流)

答 今年度は約七百㎡の川底の堆積物浚渫を予定。また、新富吉橋下流部には河畔の水辺環境を生かした水辺の整備がされている。流域住民の活動としては、正法寺川を考える会により河川清掃やエコウォッチング活動などが展開されている。正法寺川水域汚濁の原因は、一般家庭からの生活排水が多くを占めており、住民の協力は欠かせない。

その他の質問

- 登下校の安全について(自転車通学の安全指導)
- 資源ごみの有効活用について(学校での回収の反響)
- 大型店舗出店計画について(排水及び周辺道路環境)

わたしの一言

住吉花岡景子さん

子育てをされていて思うことが沢山ありますが、一番に思うことは、子どもたちが健やかにのびのびと生活できればいいということです。

しかし、今の子どもたちは安心して暮らせているのでしょうか。子どもたちが安心・安全に暮らせるには、根底となる生活環境が安定していなければならないと思います。大人の世界がゆがみ、安心して暮らしていけない不安だらけの中で、どうして子どもが安心して生活できるのでしょうか。

子どもたちが荒れているという言葉をよく聞きますが、子どもは大人の世界の真似をしているだけではないでしょうか。学校だけ、家庭だけでは教育は行き届かないと思います。藍住町という大きな輪の中で、学校・保護者、そして地域の方々が協力して子どもたちがのびのびと生活できる環境をつくる必要があると思います。そのためには町政の協力が不可欠であり、求められています。町全体で子どもたちを守り、安心して子育てができる。

また、次の世代を担う子どもたちが輝き、未来に希望を持って歩んでいける。「人に優しい藍住町」目指して頑張ってください。



議会のうごき

5月

2日 板野郡町議会議長会定例会(北島町)

8日 議会全員協議会

9日 議会だより編集委員会

9日 北島町正副議長就任挨拶

11日 勝瑞城館跡まつり

15日 第18回徳島県町村議会議員研修会(海陽町)

16日 議会全員協議会

2008年国民平和大行進

20~21日 給食民間委託推進協議会

21日 町議会議長全国研修会(東京)

21日 商工会通常総代会

22日 資格審査特別委員会

24日 藍中体育祭

25日 吉野川・那賀川合同水防演習(徳島市)

30日 福寿連合会総会

6月

2日 資格審査特別委員会

4日 議会運営委員会

8日 徳島県議長会理事會・事務局長会合同会議

8日 板野東部消防組合操法大会(北島町)

9日 6月定例議会議開会

7月

10日 観光物産協会通常総会

16日 6月定例議会一般質問

17日 資格審査特別委員会

20日 6月定例議会閉会

25日 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)

26日 板野防犯連合会総会

30日 徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合臨時会

11日 徳島市正副議長就任挨拶

14日 資格審査特別委員会研修会

11日 西クリンステーション火入れ式

22日 給食民間委託推進協議会

23日 里見副知事来庁

30日 藍寿苑給食運営協議会

31日 議会だより編集委員会

後期高齢者医療広域連合議会提出予定議案説明会

第十堰建設促進規制同盟会通常総会(徳島市)



桜つつみ公園

編集後記

夏真っ盛りです。歳をとったせいなのか、地球温暖化のせいなのか、毎年暑くなっているように感じます。それでも子どもたちはすこぶる元気で、少年野球にサッカー、中学総体など連日、真っ黒になって歓声を上げています。これだけ見れば「平和」そのものですが秋葉原無差別通り魔事件以来、殺伐とした事件が続発しており、十三歳、十四歳の少年少女が親との確執での事件には考えさせられます。藍住町でも夏休み直前に下校中の女児が車に連れ込まれそうになる事件がおきました。子どもたちの安全は地域をあげて守らなければ……

議会だより編集委員会

- 委員長 西岡恵子
- 副委員長 小西浩昭
- 委員 喜田敏夫
- 委員 平石賢治
- 委員 西川良夫